

令和5年度事務事業評価（令和4年度事後評価）

経済部

所属名	事務事業名	ページ番号
観光振興課	浮立の里展示館管理運営事業	2
観光振興課	観光協会事業	3
観光振興課	広域観光事業	4
観光振興課	観光広報PR事業	5
観光振興課	観光情報発信拠点設置・運営支援事業	6
観光振興課	観光商品開発事業	7
観光振興課	観光ボランティア育成事業	8
観光振興課	佐賀市北部の魅力発見・発信事業	9
観光振興課	SAGAつながるタクシー構築事業	10
観光振興課	観光需要回復に向けた商品開発支援事業	11
観光振興課	インバウンド観光推進事業	12
観光振興課	アジアの観光客おもてなし推進事業	13
観光振興課	コンベンション誘致推進事業	14
観光振興課	佐賀城下ひなまつり事業	15
観光振興課	佐賀城下栄の国まつり開催事業	16
観光振興課	SAGAバルーンチャレンジシリーズ事業	17
観光振興課	古湯映画祭開催事業	18
観光振興課	三瀬高原キャンペーン	19
観光振興課	地区の各種まつり等開催補助事業	20
観光振興課	バルーンミュージアム管理運営事業	21
観光振興課	観光拠点施設魅力再構築事業	22
観光振興課	大隈重信記念館管理運営事業	23
観光振興課	歴史民俗館管理運営事業	24
観光振興課	筑後川昇開橋維持管理事業	25
観光振興課	やまびこ交流館維持管理事業	26
観光振興課	観光情報発信会館維持管理事業	27
観光振興課	泉源管理事業	28
観光振興課	熊の川温泉衛の湯管理事業	29
観光振興課	やまびこの湯管理事業	30
観光振興課	温泉地活性化推進事業	31
観光振興課	熱気球大会開催事業	32

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	浮立の里展示館管理運営事業	事業期間	平成 8 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	浮立に関する民俗上貴重な資料を収集し、保存及び展示を行い、文化的学習施設として市民や観光客へ紹介するとともに、これらの資料を伝承するため、展示館を設置する。				
事業の対象者	市民、佐賀市を訪れる観光客、市民伝統文化の伝承者				
令和4年度 主な活動実績	浮立の里展示館の管理・運営を行い、来館者に市川地区を含む富士町内の5つの天衝舞を紹介した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,811	3,913	3,751		
うち佐賀市の負担額	3,793	3,883	3,700		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
来館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
235	250 345	350 225	350	350		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、昨年度と比較して120人減と来館者数は微減している。



成果目標達成に向けた対応策等
施設のPRおよび周辺の歴史的資産や自然と連携した新たな事業展開を検討する必要がある。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	観光協会事業		事業期間	昭和 40 ~	年度
担当部署・係名	観光振興課 マーケティング推進室		担当課長名	溝上 徹也	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち			
	施策	01魅力ある観光の振興			
	基本事業	観光客の誘致			

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市の観光振興及び観光誘客を図るため、佐賀市観光協会が実施する事業及び運営に要する経費の一部を助成する。 観光客の利便性を高めるため、佐賀駅構内観光案内所において観光案内等を行う。				
事業の対象者	観光客及び市民				
令和4年度 主な活動実績	(助成による事業内容) ・観光商品の造成、誘客セールスの実施、ホームページ・SNS・パンフレット等による観光情報発信、 地域イベント開催支援、事務局運営及び管理 (観光案内所) ・市内観光・イベント等案内の実施、8時半～18時(土日祝17時) ※12/31～1/3除く				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	44,402	43,063	44,100		
うち佐賀市の 負担額	44,402	43,063	44,100		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市観光客数(暦年) ※イベント除く日帰り客+宿泊客						千人
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	目標
2,819	3,011	4,047	4,519	4,603	4,358	4,438
成果指標②						単位
観光案内件数						件
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	目標
7,175	7,684	14,259	28,000	28,000	14,000	28,000

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響により目標には達しなかったものの、それぞれ前年度比134%、186%と軒並み増加しており、対外的なセールスやP R活動ができています。



成果目標達成に向けた対応策等
コロナ禍と比較して、観光マインドが高まりつつあることから、佐賀市を旅行先として選択してもらえるよう効果的な誘客、受入環境整備を図っていくための事業実施への支援を引き続き行っていく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	広域観光事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 マーケティング推進室	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	幅広い観光ニーズに対応するため、近隣の行政・観光団体等と連携し、広域的な観光資源を活用した誘客の展開を図る。(連携団体：九州観光都市連盟、佐賀県観光連盟、シュガーロード連絡協議会、佐賀広域観光等推進協議会、天山自然公園協議会ほか)				
事業の対象者	観光客				
令和4年度 主な活動実績	連携団体への負担金を拠出し、団体が行う誘客セールス、情報発信、イベント等への参加・協力を行った。食を通じた観光振興を図る団体（佐賀市はシシリアンライスdeどっとこむ）が実施する、広域的な観光PRへの助成を行った。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,978	4,679	5,210		
うち佐賀市の負担額	3,978	4,679	5,210		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市観光客数 (暦年) ※イベント除く日帰り客+宿泊客						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,819	4,358 3,011	4,438 4,047	4,519	4,603		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	新型コロナウイルス感染症の影響により目標には達しなかったものの、前年度比134%増と回復傾向にある。



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症の影響からの回復に合わせて、引き続き関係団体と連携し、他都市での商談会やイベント等へ参加し誘客等を図っていく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	観光広報PR事業	事業期間	平成 15 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 マーケティング推進室	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内の各種イベントや観光施設等の観光情報を、様々なメディアの媒体を活用しPRし、誘客を図る。				
事業の対象者	観光客及び市民				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・施設看板等掲出物・ノベルティによる広報PRの実施（10件） ・新聞、雑誌掲載、WEB・SNSによる広報PRの実施（16件） ・TV、映像制作等による広報PRの実施（4件） ・シュガーロードパネル展などのPRイベントの実施（6件） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	14,791	14,549	29,042		
うち佐賀市の負担額	14,791	14,549	29,042		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市観光客数（暦年）※イベント除く日帰り客+宿泊客						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,819	4,358 3,011	4,438 4,047	4,519	4,603		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標には達しなかったものの、前年度比135%増と回復傾向にある。



成果目標達成に向けた対応策等
コロナ禍と比較して、観光マインドが高まりつつあることから、バルーンフェスタや佐賀城下ひなまつり等を中心に、エリアやターゲット層を意識した効果的な広報PRを行い、誘客につなげていく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	観光情報発信拠点設置・運営支援事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 マーケティング推進室	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	SAGA MADOを設置・運営する佐賀市観光協会に対し経費の一部を助成し、観光客のニーズに沿った相談対応、旅の提案等ができる体制の構築、市及び県域の様々な観光・イベント情報の発信を行う。				
事業の対象者	観光客及び市民				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者数 197,204人 ・観光案内相談件数 1,738件 ・ツアー造成 6件 ・イベント実施 20市町フェア 4回 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	30,000	28,500	27,375		
うち佐賀市の負担額	24,298	22,693	21,375		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
観光案内人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,834	2,000 1,118	2,500 1,738	3,000	3,500		

Year	Target	Actual
R2	2,000	1,834
R3	2,000	1,118
R4	2,500	1,738
R5	3,000	
R6	3,500	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

Year	Target	Actual
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響により目標には達しなかったものの、昨年度と比較して55%増と回復傾向にある。



成果目標達成に向けた対応策等
市内観光関連事業者との連携・情報共有の強化、対外的なPRにより、佐賀の玄関口としての周知を図り、来訪者の増加と利用者の満足度向上につなげる。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	観光商品開発事業	事業期間	平成 29 ~	年度
担当部署・係名	観光振興課 マーケティング推進室	担当課長名	溝上 徹也	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	01魅力ある観光の振興		
	基本事業	観光機能の整備		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	観光誘客を図るため、市内の観光資源の整備・活用及び各種ツーリズム等の商品開発を実施した。				
事業の対象者	観光客				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀市北部地区におけるバイク周遊促進のための商品造成 ・サイクリングマップの製作・設置 				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,069	4,853	7,994		
うち佐賀市の負担額	4,069	4,853	7,994		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
観光商品開発数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2	3 2	3 2	3 2	3 2		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	サイクリングやバイク周遊を素材として商品開発を進めることができた。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、地元事業者と連携して観光商品開発に取り組む。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	観光ボランティア育成事業	事業期間	平成 14 ~	年度
担当部署・係名	観光振興課 マーケティング推進室	担当課長名	溝上 徹也	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	01魅力ある観光の振興		
	基本事業	観光意識（おもてなし意識）の醸成		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市の様々な観光情報の提供とおもてなし精神あふれるきめ細かい案内ができる観光ボランティアを育成するとともに、活動しているボランティアのスキルアップを図る。				
事業の対象者	観光ボランティア希望者				
令和4年度 主な活動実績	佐賀市観光協会への委託により、以下の事業を実施した。 ・定例会議、勉強会 11回 ・研修会（ガイド磨き上げ研修、新規コース検討・造成、視察研修等）6回				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	550	550	690		
うち佐賀市の負担額	550	550	690		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
観光ボランティアが案内した観光客数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
347	400 163	450 1126	500	500		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	3年振りに佐賀城下ひなまつりを開催し、観光客等が増えたことにより、前年度比690%増と大幅に増加している。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、佐賀市検定を活用し、新たなガイド確保につなげていく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀市北部の魅力発見・発信事業	事業期間	平成 29 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市北部地区の魅力を発見し、広く発信することで、福岡市など域外からの交流人口を増やし、観光面や産業面において地域を活性化させる。				
事業の対象者	県民及び福岡都市圏の住民				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、SNS、広報誌等での情報発信 ・旅行者や地元の人がつろげる交流スペースの運営 ・月例での映画上映会など、人が拠点を訪れる機会を創出 ・レンタサイクルにより、周遊してもらう機会を創出 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,450	3,450	3,450		
うち佐賀市の負担額	3,450	3,450	3,450		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
イベント参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
286	300 296	400 404	450	500		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	ウィズコロナの機運の高まりから、近距離旅行者が増加したことによるものと推察される。



成果目標達成に向けた対応策等
引き続き、地域の魅力や出来事など、色々な観光情報を発信するとともに、アウトドア需要の高まりを踏まえた旅行者、イベント参加者、地元の人と一緒に楽しくめる拠点づくりに取り組んでいく。

令和5年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	「SAGAつながるタクシー」構築事業		事業期間	令和 2 ~ 令和 4 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係		担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	01魅力ある観光の振興		
	基本事業	観光機能の整備		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	新型コロナウイルス感染症の拡大により大きな影響を受けているタクシー事業者を支援するため、タクシーを活用した観光促進の取り組みを行うとともに、市の観光の復活を図る。市内観光施設や飲食店をタクシー配車サービスにより結びつけ、小グループ単位での観光に合わせた新しいサービスを創設する。さらに、感染状況好転後のインバウンド客のタクシー利用促進にも繋がる仕組みを構築することにより、コロナ時代の新しい観光の在り方の創出を図る。				
事業の対象者	タクシー事業者、観光客				
根拠法令等	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金制度要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	年度	年度
事業費総額	10,290	6,551	9,374		
うち佐賀市の負担額	0	0	0		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
貸切タクシー及び割引チケット利用件数					件	
R2実績	R3実績	実績	実績	実績		
188	399	499				
活動実績②					単位	
実績	実績	実績	実績	実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客が激減している状況が続いたが、マイクロツーリズムの推進により、県内、市内の施設や団体へ小グループでの利用を提案した。参加事業者へのアンケートでも「事業に参加してよかった、売上げ増につながった」などの声も多く、支援策として一定の効果はあった。今後は、国の観光支援事業の動きやインバウンド観光の回復に合わせて効果的な広報を行うとともに、旅行会社等へ情報提供を行うなどしてタクシーの利用促進へ努める。

令和5年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	観光需要回復に向けた商品開発支援事業		事業期間	令和 4 ~ 令和 4 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係		担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	01魅力ある観光の振興		
	基本事業	観光客の誘致		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	新型コロナウイルス感染症の拡大により大幅に落ち込んだ観光客等が今後回復していくことを見据え、各旅行会社等と連携し、本市ならではの観光資源を活かした着地型観光商品開発、販売支援を行い、誘客促進、滞在時間の延伸による経済活性化を図る。				
事業の対象者	旅行会社、事業者、観光客				
根拠法令等	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金制度要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額			51,757		
うち佐賀市の負担額			0		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
観光・旅行商品販売件数					件	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
		6,166				
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

体験型観光商品や日帰り旅行商品の販売は好調であり、近隣地域への旅行需要が回復していることが実証された。宿泊旅行商品については、全国旅行支援の実施期間と重なったため宿泊施設の確保が難しく、当初の想定を下回る販売実績となった。今後は、体験型観光事業者と宿泊事業者及び旅行事業者の関係を強化し、販売経路を定着させることを目指すとともに、引き続き新たな着地型観光商品の造成を支援する。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	インバウンド観光推進事業	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 マーケティング推進室	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	アフターコロナ期におけるアジアをはじめとした海外からの観光客を増加させるため、本市の観光情報発信や市内の受入体制を強化し、誘客促進を図る。				
事業の対象者	アジアを中心とした海外からの観光客				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> デジタルマーケティング（佐賀市PR動画広告配信等）による情報発信 再生回数：約70万回 インバウンド向け特設ウェブサイト運用、改修 掲載スポットの入替え、分析ツールの更新 商談会への参加（東京、韓国、シンガポール） リムジンバス（空港⇄バスセンター）Wi-fi設置による受け入れ環境整備（5台） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	9,361	7,520	5,813		
うち佐賀市の負担額	9,361	7,520	5,813		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市内外国人宿泊者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
11,257	19,000 2,839	33,000 4,682	57,000	75,000		

Year	Target	Actual
R2	11,257	11,257
R3	19,000	2,839
R4	33,000	4,682
R5	57,000	
R6	75,000	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

Year	Target	Actual
R2		
R3		
R4		
R5		
R6		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大によりインバウンド観光客が激減したため、外国人宿泊者数は目標を大幅に下回った。



成果目標達成に向けた対応策等
インバウンド観光回復に合わせて、佐賀市を旅行先として選択してもらうため、デジタルプロモーション等を活用した効果的な情報発信を継続していく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

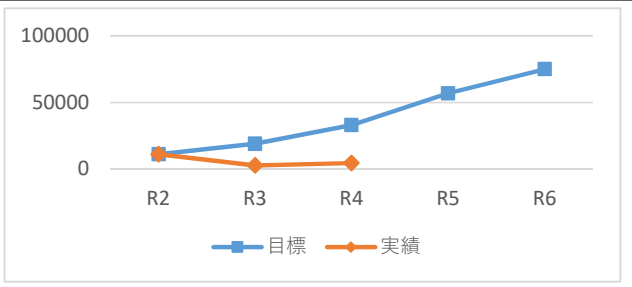
事務事業名	アジアの観光客おもてなし推進事業	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 マーケティング推進室	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

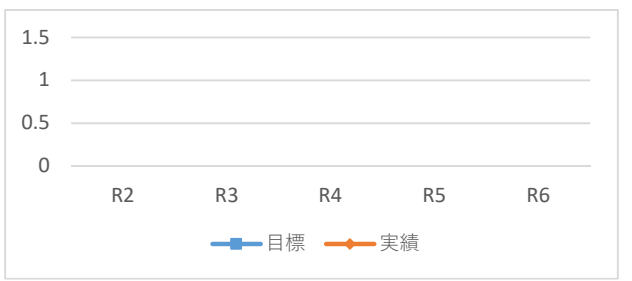
事業概要・目的	佐賀市の観光情報発信などを行い、認知度向上を図り、アジアの観光客の誘客促進に繋げる。				
事業の対象者	アジアからの観光客				
令和4年度 主な活動実績	ターゲットとなる国へのSNSによる情報発信、バルーンフェスタ会場での通訳業務を実施した。 ・韓国人観光客への情報発信 (instagram/facebook 232件) ・中国人観光客への情報発信 (Weibo 423件) ・台湾向け観光情報発信 (instagram/facebook 186件) ・徐福プロモーション (徐福伝説をテーマとした誘客) の実施				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,052	3,488	3,580		
うち佐賀市の負担額	2,052	3,488	3,580		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市内外国人宿泊者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
11,257	19,000 2,839	33,000 4,682	57,000	75,000		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大によりインバウンド観光客が激減したため、外国人宿泊者数は目標を大幅に下回った。



成果目標達成に向けた対応策等
インバウンド観光回復に合わせて、佐賀市を旅行先として選択してもらうため、効果的なりアルタイムの情報発信方法として継続し、状況に応じて観光案内所における観光案内対応も実施していく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	コンベンション誘致推進事業	事業期間	平成 27 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 マーケティング推進室	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	コンベンションの誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	本市の宿泊者数を増加させ、観光客がもたらす経済波及効果の増大を図るため、佐賀市観光協会が実施する誘致活動や開催費助成等に要する経費の一部助成、PRノベルティ制作や会議等開催に向けた相談対応を行った。				
事業の対象者	市内で大会・会議等を開催する団体				
令和4年度 主な活動実績	(助成による事業内容) ・大会等開催支援助成 15件 (申請件数15件) ・コンベンション推進団体との情報交換 2回 (その他) ・飲食店パンフレットの制作 ・大会等開催相談対応 5件				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,244	3,762	2,886		
うち佐賀市の負担額	3,244	3,762	2,886		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
大会等開催支援助成を利用した宿泊者数 (延べ)						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
938	4,000 2,496	10,000 6,056	20,000	25,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響により目標には達しなかったものの、前年度比243%増と大幅に増加している。



成果目標達成に向けた対応策等
SAGAアリーナが完成したため、県や関係部署との連携を図り、誘致活動を実施していく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀城下ひなまつり事業	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	鍋島家伝来の雛人形や、佐賀錦、鍋島小紋の雛人形等を佐賀市歴史民俗館など歴史的に貴重な建物で展示し、佐賀の優れた生活文化をPRする「佐賀城下ひなまつり」を主催する佐賀城下ひなまつり実行委員会に対し、開催経費の一部を助成する。				
事業の対象者	市民、佐賀市を訪れる観光客				
令和4年度主な活動実績	令和5年2月11日（土・祝）～3月21日（火・祝）の39日間に亘り開催された「第23回佐賀城下ひなまつり」を主催する実行委員会に対し、経費に掛かる運営費の一部を助成した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,444	6,783	14,633		
うち佐賀市の負担額	2	5,489	13,069		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
来場者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	46,000 -	69,000 84,861	92,000	116,000		

成果指標②						単位
経済波及効果						百万円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	336 -	504 452	672	841		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	新型コロナウイルスの影響を受けたものの、3年ぶりに開催されたことにより、県内外問わず多くの観光客が来場した。



成果目標達成に向けた対応策等
来場者数の増加は引き続き課題であるため、ターゲット、コンセプト等を見直すとともに、様々な媒体を通じて県内外に対して広く周知を行い、新規の来場者獲得に努める。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀城下栄の国まつり開催事業	事業期間	昭和 47 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光意識（おもてなし意識）の醸成	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民総参加を目指す佐賀城下栄の国まつりについて、市民と行政、企業等が一体となって取り組むことにより、市民の交流や中心商店街への誘客による観光消費の拡大を図るため、開催経費の一部を「佐賀城下栄の国まつり振興会」に助成する。				
事業の対象者	全市民及び近隣市町住民（観客）及びまつりイベントへの参加者				
令和4年度主な活動実績	令和4年度「第51回佐賀城下栄の国まつり」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、開催規模を縮小して3年ぶりの開催となり、取り組みに係る経費として主催団体運営費の一部を助成した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	386	1,578	11,500		
うち佐賀市の負担額	386	1,578	11,500		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
観客動員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	235,000	236,000 - 240,000	237,000	238,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、3年ぶりに開催されたことで観客が増加した。



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症の制限がないまつりに向けて、従来イベントの見直しや新たなイベントの企画を行うことで、観客の満足度を上げ、さらなる誘客を図る。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	SAGAバルーンチャレンジシリーズ事業	事業期間	平成 15 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀インターナショナルバルーンフェスタ終了後の秋から冬にかけてのフライトシーズンにあわせ、ランキング方式のバルーン大会を4戦にわたって開催する。また、バルーン大会にあわせて朝市や熱気球係留体験搭乗を実施し、経済波及効果の増大を図っている。				
事業の対象者	北部九州、特に福岡都市圏を中心とした観光客数				
令和4年度 主な活動実績	【第1戦】令和4年11月19日(土) ※強風のため中止。 【第2戦】令和4年11月20日(日) 【第3戦】令和4年12月3日(土) 【第4戦】令和4年12月4日(日) ※荒天のため中止。 ※イベントとしてバルーン朝市、熱気球係留体験搭乗を実施。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,678	1,980	1,891		
うち佐賀市の負担額	1,678	1,980	1,891		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
観客動員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	5,500 -	6,000 4,200	6,500	7,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりに有観客での開催となったが、強風や荒天により4戦中2戦が中止となったため来場者が減少した。



成果目標達成に向けた対応策等
風や天候により競技が中止になり、観客動員数に変動するため、従来のイベント見直しや新たなイベント企画を行うことで、競技以外の観客満足度を上げる。また、より多くの広報媒体を活用することで、本大会の認知度を高め、市内外からのさらなる誘客を図る。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	古湯映画祭開催事業	事業期間	昭和 59 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	毎年テーマを決め、テーマに沿った映画を上映する。上映する映画の監督や出演した俳優、スタッフをゲストとして招待し、映画の合間には映画の裏話などを直接聞くことができるトークショーやパーティーを開催する。近隣の温泉施設と連携を図ることで、誘客促進につなげている。				
事業の対象者	県内及び北部九州を中心とした全国の映画ファン				
令和4年度主な活動実績	名称 第37回富士町古湯映画祭 期間 9月23日(金)～9月25日(日) (3日間) 上映本数 9本 テーマ 「石井裕也監督と選んだこの6本」				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	487	270	2,500		
うち佐賀市の負担額	0	0	0		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
会場来場者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	1,800 -	1,900 1,090	2,000	2,100		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症対策のため、会場内の入場制限等を行ったうえで実施したこともあり、来場者数は目標の半分程度にとどまった。



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症による制約の緩和に合わせて、ゆったりと寝転んで鑑賞できるござ席の復活など、通常開催に戻すとともに、古湯・熊の川温泉街と連携するような企画内容を検討し、様々な媒体を通じて市内外に対して広く広報を行う。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	三瀬高原キャンペーン		事業期間	平成 20 ~	年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係		担当課長名	溝上 徹也	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち			
	施策	01魅力ある観光の振興			
	基本事業	観光客の誘致			

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	福岡市と隣接し、佐賀市の北の玄関口に位置している佐賀市三瀬村において、福岡県側からの観光客誘客を促進するため、専門の情報誌を作成し、三瀬村の観光資源を積極的にPRしている。同時に、スタンプラリーを実施し、キャンペーン加盟店、観光施設間の周遊性を高めている。				
事業の対象者	県内及び福岡市からの来場者				
令和4年度主な活動実績	三瀬高原キャンペーン実行委員会が実施する、事業に要する経費の一部を助成した。 ・三瀬の観光に関する情報誌を作成し、三瀬村の観光資源のPR及びスタンプラリーを実施した。 (キャンペーン期間：令和3年7月16日～12月31日)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,000	1,593	1,960		
うち佐賀市の負担額	1,016	728	1,294		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
スタンプラリー参加者数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績
1,271	1,398	1,537	1,691	1,860	1,376	1,667

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	ウィズコロナの機運の高まりから、近距離旅行者が増えたことによるものと推察される。



成果目標達成に向けた対応策等
三瀬地区にあるやまびこの湯の指定管理者が行うグランピング事業が好調で、同地区への来訪者が多く見込まれることから、グランピング事業利用者に対して当キャンペーンへの参加を促すような工夫（スタンプラリー内容、広報など）に取り組む。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	地区の各種まつり等開催補助事業	事業期間	昭和 57 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光意識（おもてなし意識）の醸成	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内各地で開催される各種まつり、イベントに対して補助金を交付する。				
事業の対象者	市民				
令和4年度 主な活動実績	【補助対象事業】 神野公園桜まつり、佐賀城下町イベント、ヤマメまつり、さが鑑真和上まつり、久保田町精霊流し 川上峡花火大会、香椎神社まつり、諸富産業祭、富士ふれあい祭り、三瀬ポップジャム 田舎と都市のふれあい祭り、東与賀シチメンソウまつり				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,902	7,306	17,063		
うち佐賀市の負担額	3,902	4,806	11,452		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
観客動員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
5,000	170,000 9,381	175,000 77,736	180,000	185,000		

Year	Target	Actual
R2	5,000	5,000
R3	170,000	9,381
R4	175,000	77,736
R5	180,000	
R6	185,000	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

Year	Target	Actual
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響により目標には達しなかったものの、前年度比829%増と大幅に増加している。



成果目標達成に向けた対応策等
今後、イベントによっては内容の見直しなどが必要となる可能性があるため、必要に応じて協議の場を設けることで、各地区のまつり主催者に寄り添い、まつり開催に向け支援する。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	バルーンミュージアム管理運営事業	事業期間	平成 25 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	観光客及び市民が年間を通じてバルーンに関する情報に触れることが出来る、バルーンをテーマとした国内初の常設の展示館を運営し、観光拠点として位置付けることにより、「熱気球のまち佐賀市」の魅力を広くアピールするとともに、観光振興及び地域経済の活性化に資する。				
事業の対象者	市民及び観光客				
令和4年度 主な活動実績	ゴールデンウィークイベント「バルーンカードゲームチャンピオンシップ」(4月、5月) 他 「サンデーキッズ・ワークショップ」(6月、9月) 他 夏休みイベント「キー・クラブ・レース・チャレンジ」(7月、8月) 他 企画展「私と熱気球の物語」(10月、11月) 他 冬の企画「光のバルーンファンタジー」(2月、3月) 他				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	62,437	68,523	64,565		
うち佐賀市の負担額	49,401	56,108	48,509		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
来館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
95,000	100,000 114,000	150,000 131,000	200,000	200,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	県内の修学旅行や近隣からの家族利用が増えたことで来館者数は増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響がまだ残っており、目標に達しなかった。



成果目標達成に向けた対応策等
佐賀市内の観光施設及び歴史的施設との連携を深めるとともに、バルーンフェスタやひなまつり等のイベントと連携した誘客を行うことで、更なる成果向上を図る。今後も来館者数の回復(R1年度201,000人)に向けて魅力あるイベントや企画展などを開催しながら、効果的な広報に努め誘客促進を図りたい。

令和5年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	観光拠点施設魅力再構築事業		事業期間	令和 4 ~ 令和 4 年度
担当部署・係名	観光振興課		担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	01魅力ある観光の振興		
	基本事業	観光機能の整備		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	バルーンミュージアムの機能の維持及び向上により、より魅力のある施設へと再構築するため、コンテンツのリニューアル等を行うもの。特に、言語を必要としない直感的なコンテンツを重点的に整備することや、非接触型のキャッシュレス機器を導入することで、新型コロナウイルス感染症対策を行い、アフターコロナを見越したインバウンドの獲得を目指す。				
事業の対象者	市民及び観光客				
根拠法令等	令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金制度要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額			26,598		
うち佐賀市の負担額			0		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	<table border="1"> <caption>来館者数実績</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>来館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>95,000</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>22,000</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>138,000</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	来館者数	R2	95,000	R3	22,000	R4	138,000	R5		R6	
年度	来館者数																	
R2	95,000																	
R3	22,000																	
R4	138,000																	
R5																		
R6																		
来館者数					人													
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績														
		131,000																
活動実績②					単位													
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績														

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に減少していた来館者数（R1年度201,000人→R2年度95,000人）が、展示機器等更新後の令和5年1月以降の来館者数は前年度比約173%（R3年度1～3月計：22,000人、R4年度1～3月計：38,000人）となり、一定の効果があつたことがうかがえる。
 今後は、継続的な来館者数の増加のため、既存事業の中で対応していく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	大隈重信記念館管理運営事業	事業期間	昭和 47 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	世界的政治家として、また、早稲田大学の創設者として有名な大隈重信侯の誕生 125 年を記念して建設された大隈重信記念館を観光資源として、県内外から観光客を誘致するため、記念館の維持管理を行う。				
事業の対象者	佐賀市を訪れる観光客、市民、早稲田を目指す学生、在校生、卒業生				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・第42回大隈祭開催（5/8） ・企画展「大隈重信と津田梅子」を実施（2/21～3/21） ・大隈重信侯102回忌法要開催（1/10） ・大隈重信記念館外部電源開閉器盤の機器更新の実施 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	21,011	29,572	22,302		
うち佐賀市の負担額	528	127	0		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
施設利用の満足度						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
75	77 76	79 77	81	83		

成果指標②						単位
年間入館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
5,524	8,000 8,222	10,000 11,546	12,000	14,000		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	施設の利用満足度については、目標には僅かに届かなかったが、概ね達成できている。入館者数については回復の兆しを見せており、目標を達成できた。



成果目標達成に向けた対応策等
佐賀市内の観光施設及び歴史的施設との連携を深めるとともに、バルーンフェスタやひなまつり等のイベントと連携した誘客を行うことで、更なる成果向上を図る。今後も状況を見ながら、効果的な広報に努め、市内外からの観光客の誘致に繋げる。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

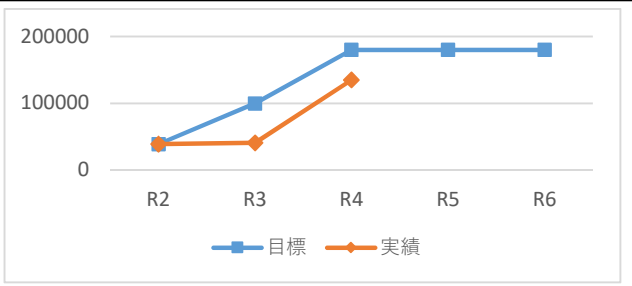
事務事業名	歴史民俗館管理運営事業	事業期間	平成 9 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

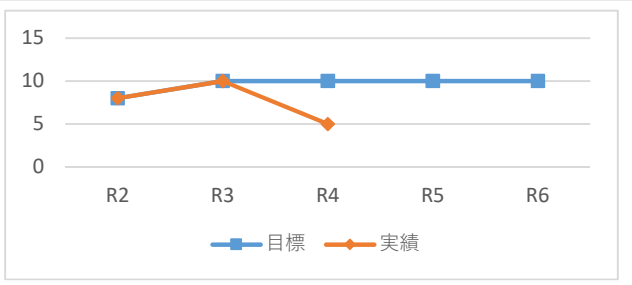
事業概要・目的	佐賀市歴史民俗館の有効かつ効果的な活用のため、イベントの実施など観光振興の拠点として集客を高めることを目的とした管理運用を適切に行う。				
事業の対象者	市民及び観光客				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・公募イベントの実施（5件） ・第2・3回佐賀城下ひなまつりの開催 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	109,172	101,813	33,906		
うち佐賀市の負担額	64,039	61,348	26,776		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
年間入館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
38,725	100,000 40,514	180,000 134,919	180,000	180,000		



成果指標②						単位
公募イベントの実施数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
8	10 10	10 5	10	10		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものの、佐賀城下ひなまつりの開催や国内旅行の回復等により、入館者数は前年度比約94,400人増（前年度比333%）とコロナ禍前の状況に戻つつある。



成果目標達成に向けた対応策等
施設のイベント開催や施設の広報に努め、観光客の誘客を図ることにより、目標値の達成を目指す。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	筑後川昇開橋維持管理事業	事業期間	平成 8 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	筑後川昇開橋の維持管理をはじめ、広報・イベントの開催などを行い、観光客の誘客を図る公益財団法人筑後川昇開橋観光財団に対し、その経費の一部を助成する。				
事業の対象者	佐賀県内外の観光客				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・筑後川昇開橋スタンプラリーの実施 ・小中学生を対象としたスケッチコンテストを開催 ・写真、絵画コンテストを開催 ・新聞、テレビ、財団ホームページ等において各イベントの周知を実施 ・昇開橋グッズの販売 ・耐震診断、耐震計画業務を令和3、4年度の2年間にわたり実施。 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	6,300	9,630	8,850		
うち佐賀市の負担額	6,300	9,630	8,850		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
遊歩道通行者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
42,934	45,000 41,613	48,000 43,945	50,000	53,000		

年度	目標	実績
R2	42,934	42,934
R3	45,000	41,613
R4	48,000	43,945
R5	50,000	
R6	53,000	

成果指標②						単位
イベント参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
243	300 150	400 774	500	600		

年度	目標	実績
R2	243	243
R3	300	150
R4	400	774
R5	500	
R6	600	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	通行者数については目標には届かなかったものの、昨年度と比較して6%増と回復傾向にある。イベント参加者数については、「筑後川昇開橋スタンプラリー」を2年ぶりに実施できたことなどの影響により、前年度比516%と目標を大きく上回った。



成果目標達成に向けた対応策等
近隣にある、佐賀市観光情報発信会館（橋の駅ドロンパ）や新北神社をはじめ、東与賀干潟ビジターセンターひがさす、佐野常民記念館及び三重津海軍所跡など、佐賀市南部の観光資源とさらに連携を深め、目標達成に繋げたい。今後も状況を見ながら、イベントの実施や効果的な広報に努める。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	やまびこ交流館維持管理事業	事業期間	平成 13 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	古くから継承されてきた民家等を保存活用するため、農機具その他の展示のほか、生活様式、農作業体験及び市内外の住民の交流を行う場として交流館の維持管理を行う。				
事業の対象者	市民及び観光客				
令和4年度 主な活動実績	やまびこ交流館を維持管理し、宿泊客や見学者の受け入れを行った。 ・見学者 588人 ・会議室利用客 70人 ・宿泊客 168人				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,584	3,009	3,086		
うち佐賀市の負担額	5,418	2,871	2,250		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
年間入館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
378	507 684	676 826	845	929		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、前年度比121%と大幅に増加している。



成果目標達成に向けた対応策等
隣接地で実施されているグランピング事業（やまびこの湯の指定管理者が実施）の利用者数のさらなる伸びが見込まれるため、グランピング利用者に対するPRなど、当館の認知度アップに継続して取り組む。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	観光情報発信会館維持管理事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市観光情報発信会館「橋の駅ドロンパ」は、徐福上陸の地として伝えられる諸富地区に位置し、国の重要文化財にしてされている筑後川昇開橋に隣接するなど、佐賀市南部地域の主要な観光拠点の一つである。この施設の維持管理を行い、効果的な観光情報の発信を行うことにより、広域的な観光の振興を図る。				
事業の対象者	佐賀市を訪れる観光客				
令和4年度主な活動実績	市内特産品等の販売、観光情報発信、ボランティアガイドの育成				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,000	3,000	3,490		
うち佐賀市の負担額	2,629	2,630	3,122		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
来館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
86,764	88,000 85,793	89,000 87,619	90,000	91,000		

成果指標②						単位
観光情報発信会館での売上金額						千円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
103,498	104,000 101,454	104,500 106,131	105,000	105,500		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	来館者数については目標には届かなかったものの、前年度と比較して2%増と回復傾向にある。売上金額については、目標額を達成することができた。



成果目標達成に向けた対応策等
隣接する筑後川昇開橋や、近隣の新北神社をはじめ、東よか干潟ビジターセンターひがさす、佐野常民記念館及び三重津海軍所跡などの観光資源とさらに連携を深め、佐賀市南部地域の主要な観光拠点の一つとして、目標達成に繋げたい。また、観光情報発信会館としての情報発信力強化及び市内外の観光客を迎え入れる体制の確立が必要である。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	泉源管理事業		事業期間	昭和 43 ~	年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係		担当課長名	溝上 徹也	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち			
	施策	01魅力ある観光の振興			
	基本事業	観光機能の整備			

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	泉源や各旅館・公衆浴場等への温泉給湯設備を適正かつ円滑に管理運営する。				
事業の対象者	旅館業者及び浴場業者等				
令和4年度主な活動実績	旅館及び浴場施設、温泉スタンドへの温泉給湯を適正に行い、関係施設の円滑な運営に寄与した。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	10,198	14,527	13,979		
うち佐賀市の負担額	0	4,631	2,899		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
温泉スタンド売上金額						千円
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	
394	433	453	472	492		
	433	358				

成果指標②						単位
R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	目標	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	温泉スタンドの売上金について前年度比83%となっている。



成果目標達成に向けた対応策等
温泉給湯設備の経年劣化に伴い必要な修繕が年々増えてきているが、今後も継続的に温泉施設が滞りなく営業できるよう適切な管理運営に努める。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	熊の川温泉衛の湯管理事業	事業期間	平成 10 ~	年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	溝上 徹也	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	01魅力ある観光の振興		
	基本事業	観光機能の整備		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	熊の川温泉衛の湯を設置し、地域住民の福祉、健康の増進並びに観光及び産業の振興を図る。有限会社熊の川温泉ちどりの湯を指定管理者とし、施設運営を行っている。				
事業の対象者	市民及び観光客				
令和4年度 主な活動実績	施設の適切な管理を行うとともに、周辺施設との共同による季節に応じたイベントの開催や、それに応じた宣伝広告により集客増を図った。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	16,006	15,564	15,913		
うち佐賀市の負担額	10,999	10,264	15,913		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
ちどりの湯入館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
54,573	60,030 57,303	62,758 54,323	65,487	68,216		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前年度と比較して5%減となっている。



成果目標達成に向けた対応策等
開設当初に比べ、近隣に類似施設が増加していることにより、入館者数は年々減少傾向であるが、経営改善のための経費の見直しは継続しつつ、近年強化しているSNS等を活用した広報活動やイベントの実施等を継続することで入館者の増加に努める。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	やまびこの湯管理事業	事業期間	平成 8 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	やまびこの湯を設置し、地域住民の福祉、健康の増進並びに観光及び産業の振興を図る。株式会社創裕を指定管理者とし、施設運営を行っている。				
事業の対象者	市民及び観光客				
令和4年度 主な活動実績	施設の適切な管理を行うとともに、季節に応じたイベントの開催や、それに応じた宣伝広告、指定管理者による自主事業であるグランピング事業により集客増を図った。また、館内の各種修繕等環境整備に努めた。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	30,918	23,543	17,569		
うち佐賀市の負担額	17,571	13,543	17,569		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
年間入館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
74,156	96,000 95,972	108,000 106,635	120,000	120,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、前年度と比較して11%増と回復傾向にある。



成果目標達成に向けた対応策等
入館者数のさらなる増加を図るため、指定管理者による自主事業であるグランピング事業に加え、泉質の良さや、豊かな自然の中というロケーションをPRし、施設の魅力を総合的に高める。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	温泉地活性化推進事業		事業期間	平成 19 ~	年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係		担当課長名	溝上 徹也	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち			
	施策	01魅力ある観光の振興			
	基本事業	観光意識（おもてなし意識）の醸成			

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	温泉地ならではのイベントの開催や広報事業を行い、温泉地への誘客を図る。				
事業の対象者	市民、福岡市民				
令和4年度 主な活動実績	古湯・熊の川温泉花火大会等イベントの実施、ホームページの更新業務、SNSの定期的な運用、温泉情報を含めた富士町の観光情報のパンフレットの作成、老朽化し情報が古い案内板の修繕等を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,640	4,733	4,735		
うち佐賀市の負担額	0	0	0		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
古湯・熊の川温泉旅館の日帰客数						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
167,796	184,575 173,705	192,965 165,808	201,355	209,745		

成果指標②						単位
古湯・熊の川温泉旅館の宿泊客数						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
53,317	58,648 54,895	61,314 68,773	63,980	66,646		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、前年度と比較して日帰客数で4.5%微減、宿泊客数で25.3%増となった。全国旅行支援の実施等による効果が表れていると考えられる。



成果目標達成に向けた対応策等
ホームページの内容を充実させて効果的な広報を行うとともに、花火大会等のイベントを実施することにより、古湯・熊の川温泉及び佐賀市への誘客を図る。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	熱気球大会開催事業	事業期間	昭和 55 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	溝上 徹也
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市の秋の風物詩であり、市民の誇り・文化となっている「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」を開催することにより、「熱気球の街さが」のイメージアップを図り、観光客の増加を促進する。				
事業の対象者	バルーン大会の来場者数（観客数、市民）				
令和4年度 主な活動実績	名称 2022佐賀インターナショナルバルーンフェスタ 期間 令和4年11月2日（水）～6日（日）（5日間） 参加機数 95機 ※新型コロナウイルス感染対策を実施した上で、国内大会として開催				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	13,261	15,797	201,380		
うち佐賀市の負担額	348	14,107	186,135		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
経済波及効果						百万円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	7,000 -	7,000 8,013	7,000	7,000		

年度	目標	実績
R2	7,000	0
R3	7,000	0
R4	7,000	8,013
R5	7,000	7,000
R6	7,000	7,000

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	新型コロナウイルス感染症の影響により、国内大会として開催となったが、80万人を超える来場があり、目標とする経済波及効果を達成することができた。



成果目標達成に向けた対応策等
従来イベントの見直しや新たなイベントの企画を行うことで、本大会に内容の充実を図る。 また、様々な広報媒体を通じて市内外及び首都圏等への広報、また、海外インバウンド向けのツアー醸成等も行うことで、さらなる誘客を図り、経済波及効果の増加に繋げていく。